

随想集(四) 稲田をわたる風

み う ら や す こ
三浦安子 著

1938年、京都府舞鶴市生まれ、栃木県今市、富山県高岡で育つ。1961年、東京大学教養学部教養学科ドイツ分科卒業。1965—67年、ハンブルク大学に留学。1972年、東京大学大学院比較文学比較文化博士課程満期退学。1972—2009年、東洋大学に勤める（ドイツ語・比較文学担当）。現在、東洋大学名誉教授。

嬉しいとき、悲しいとき、人には必ず自分を取り戻す場所、繰り返し立ち戻る「聖地」とも言うべき場所がある。若く瑞々しい感性が感じ取った出会いの喜び、本を読む幸せ、生きる意味。魂の経験は時代を超えてドイツ文学者の日々を明るく照らす。心を潤す随想集第4集。

四六判・並製・96頁・定価1,100円（本体1,000円＋税）

ISBN978-4-8184-5560-3 C0095

出荷条件＝6ヶ月 100%

※150部の限定配本につき、ご注文が多い場合は冊数調整させていただきます。

目次

I 風に吹かれて

- 一、春の想い
- 二、稲田をわたる風
- 三、「おりおりそそぐ秋の雨」
- 四、「冬の星座」

II 書読む月日

- 一、高岡古城公園の中の市立図書館
- 二、鶴ヶ谷真一『月光に書を読む』を読んで

- 三、今年の夏は——寺島実郎『ジェロントロジー宣言』を読んで
- 四、「家居」の一年間——コロナ・手仕事・読書
- 五、富士川義之著『ある文人学者の肖像——評伝 富士川英郎』出版記念会祝辞

III この世を超えるもの

- 一、聖書と共に——その学びは日常生活の中で
- 二、新作能『鎮魂——アウシュヴィッツ・フクシマの能』を観て
- 三、現実と闘う宗教者——高瀬千図『明恵——梶尾高山寺秘話』を読んで

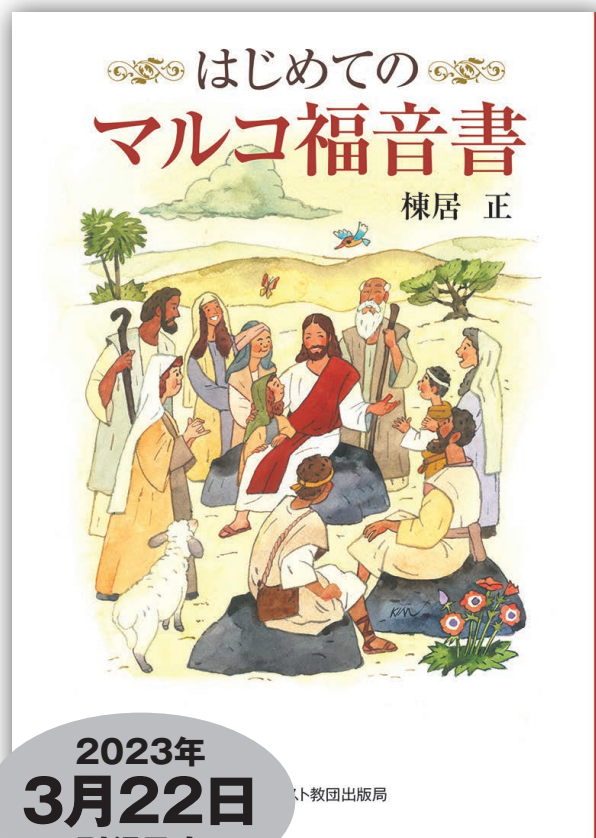


- 四、安曇野の清流——井口喜源治の生地を訪ねて
 - 五、忘れられない言葉——矢内原忠雄先生の思い出
- IV 畏れを抱きつつ生きる
——野村実先生の「問い」を想起しつつ

◆2023年3月の新刊

日本キリスト教団出版局

はじめての マルコ福音書



むねすえ ただし
棟居 正 著

1930年、東京市に生まれる。旧制明治学院専門学校英米文学科卒業。横須賀学院に奉職、小学校、中学校、高等学校、夜間英語学校の英語を担当。その後青山学院に招聘され、中等部、高等部の英語科教員として勤務。この間クラブ活動で宗教活動を行う顧問を務める。日本基督教団神奈川教区鎌倉雪ノ下教会を経て、現在も東京教区柿ノ木坂教会で教会学校の奉仕を続けている。

**マルコ福音書を一緒に読み進めよう！
聖書を初めて手に取る方に最適**

聖書を読んでみたい。でもいざ手にとってみても、よくわからない……。そんな人に最適の書。マルコ福音書を初めから終わりまで、新共同訳聖書の小見出しごとに、ゆっくりじっくり読み進める。1930年生まれで現在も教会学校で奉仕している熟練信徒の著者が導く。

A5判・並製・128頁・定価1,650円（本体1,500円＋税）
ISBN978-4-8184-1130-2 C0016

◆2023年3月の新刊

日本キリスト教団出版局

パウロの「旧約」引用に内在する論理を鮮やかに読み解く！

パウロ書簡にこだまする 聖典の声

パウロは「旧約」聖書を
どう読んだか



リチャード・B・ヘイズ 著

デューク大学教授。イェール大学で英文学を修める。同大学神学部修士課程 (M. Div.)、エモリー大学大学院博士課程修了 (Ph.D.)。2010-2015年にデューク大学神学部長を務める。日本語訳に『イエス・キリストの信仰 ガラテヤ3章1節-4章11節の物語下部構造』(新教出版社、2015年)、『新約聖書のモラル・ヴィジョン 共同体・十字架・新しい創造』(キリスト新聞社、2011年) など。

あずま

東 よしみ 訳

関西学院大学准教授。国際基督教大学卒業、東京大学大学院修士課程修了、エモリー大学大学院博士課程修了 (Ph.D.)。

パウロ書簡における「旧約」引用は読者を戸惑わせる。なぜこの箇所が、このような文脈で引用されているのだろうか？ 本書は間テクスト性の観点から「旧約」とパウロ書簡の間に生まれる響きに耳をすませ、パウロに内在する論理を明らかにする。

A5判・上製・368頁・定価6,820円 (本体6,200円+税)

ISBN978-4-8184-1126-5 C3016

◆2023年3月の新刊

日本キリスト教団出版局

主よ、わが唇を開きたまえ

説教黙想集

2023年3月24日
刊行予定

かとうつねあき
加藤常昭 編訳

1929年、旧満州ハルピンに生まれる。東京高等師範学校付属中学、旧制第一高等学校、東京大学文学部哲学科、東京神学大学博士課程前期課程修了。日本基督教団若草教会、牛込弘方町教会、鎌倉雪ノ下教会にて主任担任教師。現在、同教団隠退教師。牧会の傍ら、東京神学大学で実践神学を教え、再三、ドイツに研究滞在、ハイデルベルク大学客員教授（1986-87）、国際説教学会会長（1995-97）。現在、説教塾主宰として、説教者の研修指導に励んでいる。

東京神学大学や「説教塾」で長年日本の説教者を指導してきた神学者が、説教塾セミナーで実際に用いた、11本の聖書テキストから釈義、黙想、礼拝説教に至る資料を集成。セミナーの雰囲気を感じつつ「説教準備の仕方」が学べる。

A5判・上製・682頁・定価8,800円（本体8,000円＋税）

ISBN978-4-8184-1089-3 C3016

目次

- マタイによる福音書 第9章9—13節
釈義／黙想 一、二、三
- マタイによる福音書 第28章16—20節
黙想 一、二、三、四、五／説教（加藤常昭）
- マルコによる福音書 第2章1—12節
第一の黙想／釈義／第二の黙想 一、二
それぞれが第二の黙想をするために
- ルカによる福音書 第7章36—50節
黙想 一、二、三、四、五、六、七

- ルカによる福音書 第15章11—32節
説教準備のためのノート
黙想 一、二、三、四
- ルカによる福音書 第20章1—8節
黙想
- ローマの信徒への手紙 第5章1—11節
釈義のパースペクティヴにおける考察
- ローマの信徒への手紙 第8章12—17節
釈義 一、二、三、四／黙想 一、二

- コリントの信徒への手紙一 第15章50—58節
最初の考察／黙想 一、二／説教（加藤常昭）
- コリントの信徒への手紙二 第5章16—21節
第一の黙想／釈義／第二の黙想 一、二
説教（H. J. イーヴァント）
- ヘブライ人への手紙 第2章10—18節
ヘブライ人への手紙緒論
釈義ノート／黙想 一、二、三、四、五



【好評発売中】『み言葉打ち開くれば光を放ち——加藤常昭 説教黙想集』 加藤常昭 定価7,700円

◆2023年3月の新刊

日本キリスト教団出版局

聖書通読

新約聖書1日1章

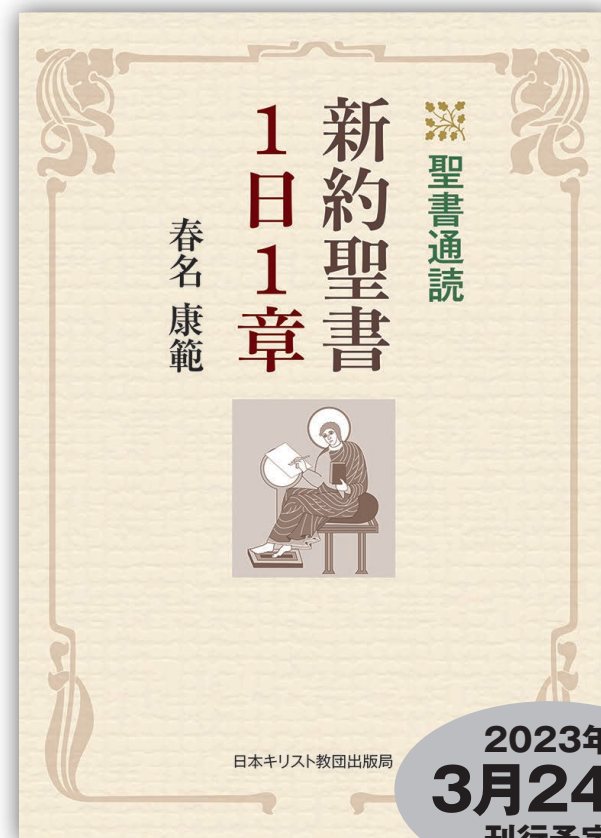
は る な や す の り
春名康範 著

同志社大学神学研究科修了、日本基督教団早稲田教会、王子教会、新潟教会、天満教会、伊丹教会で牧会。神戸女学院中等部部長、キリスト教社会福祉専門学校校長などを歴任。『人生にイエスを』『疑問がハレルヤ キリスト教』『人生、一歩先は光 はるな牧師のマンガ説法』『クイズdeキリスト教入門』『マンガdeキリスト教入門』『キリスト教との出会い 生きる力』（以上日本キリスト教団出版局）など著書多数。

**新約聖書を1章1ページで解説
各章のポイント、エピソードがわかる**

マンガ説法などで福音をわかりやすく伝えてきた著者が、聖書を細切れで読むのではなく、全体として読んで書かれたメッセージを汲みとることを目指す。著者自身、信徒と共に1日1章の通読をしたことにより、聖書全体が語りかけてくる福音に支えられるようになったという。

A5判・並製・280頁・定価3,080円（本体2,800円＋税）
ISBN978-4-8184-1131-9 C0016





教文館 新刊案内

3月15日発売予定

からだ ハーマンにおける言葉と身体

聖書・自然・歴史

川中子義勝❖著



「北方の博士」ハーマン研究の集大成!

ゲーテからは「時代の最も鋭敏な知性」、キルケゴールからは「主体的な真理」への「覚醒のラッパ」を聴いたと評されたJ.G.ハーマン。18世紀の思想的主潮をなした啓蒙主義を批判し、「啓蒙の弁証法」を先取りした彼の生涯・思想・影響を網羅。ハーマン研究の道しるべともなる一冊。

❖著者紹介 川中子義勝 1951年、埼玉県与野町（現さいたま市）に生まれる。埼玉大学、ドイツ・マールブルク大学で哲学を学んだ後、東京大学大学院人文科学研究科（ドイツ文学）修了。熊本大学助教授、東京大学大学院総合文化研究科教授を経て現在、同名誉教授。ドイツ文学・キリスト教思想史、とりわけ、ヨハン・ゲオルク・ハーマンの研究・紹介に努めてきた。『ハーマンの思想と生涯——十字架の愛言者』（教文館、1996年）、『北の博士・ハーマン』（沖積社、1996年）、『北方の博士・ハーマン著作選』（沖積社、2002年）。それらにより、アマーリエ・フォン・ガリツィン賞受賞（1998年）。

A5判・上製・302頁・定価5,280円（本体4,800円+税） ISBN978-4-7642-7469-3 C3016



アウグスティヌス著作集20/II

詩編注解(6)

第123—150編

アウグスティヌス❖著 河野一典・松崎一平❖訳



『アウグスティヌス著作集』が遂に完結！

アウグスティヌスの詩編解釈とその講解説教は、文法学者・修辞学者としての彼の個性を色濃く反映しつつ、「旧約聖書のあらゆる記述はキリストの救いの予型(figura)である」とするキリスト教会の聖書解釈の伝統を受け継いでなされた。詩編作者の声に聴きながら、絶えず主イエス・キリストの姿を描く本注解は、教会史上の傑作と呼ばれる。本書には第123—150編が収録されている。

❖訳者紹介 河野一典 1960年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得(哲学・西洋哲学史専攻)。現在、鹿児島純心女子短期大学教授。

著書 『新プラトン主義を学ぶ人のために』(共著、世界思想社、2014年)。

松崎一平 1953年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程学修退学。富山大学教養部講師、助教授、人文学部助教授、教授を経て、2021年に停年退職。現在、富山大学名誉教授。

著書 『アウグスティヌス『告白』——〈わたし〉を語ること……』(岩波書店、2009年)ほか。

A5判・上製・914頁・定価12,100円(本体11,000円+税) ISBN978-4-7642-3034-7 C3316

N.T. ライト新約聖書講解 2

【日本語版監修者】

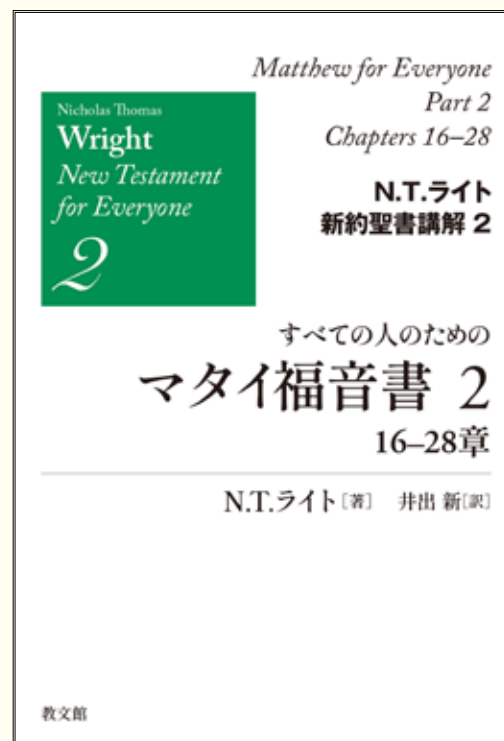
浅野淳博・遠藤勝信・中野実

すべての人のための マタイ福音書 2 16-28章

N. T. ライト 著 井出新 訳

「来たるべき時代」の生き方とは何か

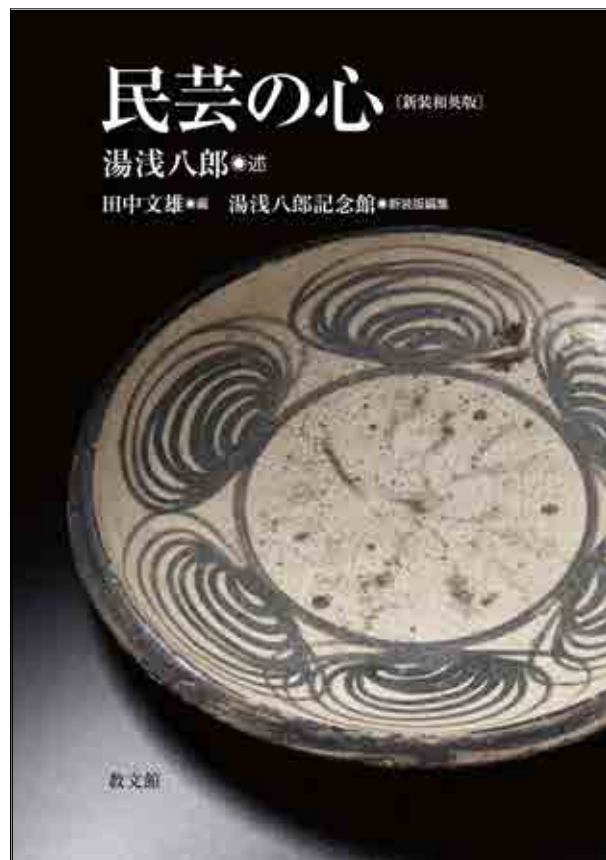
多様なイエス像を描いたマタイ福音書のうち、イスラエルのメシアとしてのイエスが浮かび上がる後半部。マタイが伝えようとした神の王国の到来と、神に召された者のあるべき姿とは？ 当時の社会・文化的背景を平易に解説しつつ、現代に向けて生き生きと福音を語るシリーズ第四弾。



著者紹介 **N. T. ライト** 1948年生まれ。現在はオックスフォード大学で教鞭を執る。著書に『新約聖書と神の民(上・下)』(新教出版社、2015年、2018年)、『悪と神の正義』(教文館、2018年)ほか。

訳者紹介 **井出新** (いで・あらた) 1960年生まれ。1987年明治学院大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程を単位取得退学。現在、慶應義塾大学文学部教授。専門は初期近代イギリスの文学と宗教。著書に『エリザベス朝演劇の誕生』(共著、水声社、1997年)、訳書にベン・ジョンソン『浮かれ縁日・ジョンソン戯曲選集5』(共訳、国書刊行会、1992年)ほか。

四六判・並製・330頁・定価 3,080 円 (本体 2,800 円+税)・ISBN 978-4-7642-2082-9 C0316



民芸の心〔新装和英版〕

湯浅八郎 述

田中文雄 編 湯浅八郎記念館 新装版編集

世界の心に繋がれた日本の魂

「湯浅先生は、神と人、人と人、人と自然、さらには人と物とを、巧まずに結び合わせる稀有の人だった。本書は氏の生の声に触れられる得難い記録である。」

——村上陽一郎氏（科学史家、科学哲学者）推薦

- 研究者・教育者としての働きの一方、民芸品の蒐集家でもあった湯浅八郎が、晩年に ICU で語った民芸に関する講義を書籍化。
- 初版（1978 年）に英語訳を付し、装丁を一新。
- カラー図版には湯浅八郎記念館の収蔵品を多数収録！

国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

1982 年、湯浅八郎の大学創設への貢献を記念し ICU 内に開館。湯浅が蒐集した各地の民芸品、大学構内の遺跡から出土した考古遺物、その他の美術品や歴史資料などを収蔵・展示している。

《著者・编者紹介》

湯浅八郎（ゆあさ・はちろう 1890-1981）…1908 年に単身渡米、イリノイ大学大学院で博士号取得（昆虫学）。京都帝国大学教授、同志社総長を歴任し、国際基督教大学初代学長（総長）に就任。1971 年、京都民芸協会会長に就任。

田中文雄（たなか・ふみお 1933-2011）…ニューヨーク州立大学大学院修了。1964 年より国際基督教大学で西洋美術史を教え、1996 年まで湯浅八郎記念館館長を務めた。

イエズス会の規範となる 学習体系 (1599年版) [羅和对訳]

ロバート・キエサ 訳・注解 高祖敏明／梶山義夫 翻訳協力



西欧の高等教育の礎となった〈学事規定〉

イグナチオの精神に基づいて世界各地に開設され、デカルトをはじめ数多の知識人を輩出したイエズス会学校。その教育の「憲章」であり、学習指導の手引きとして用いられた『学事規定』は、当時の高等教育の実態や思想的背景を知るうえで不可欠な歴史的文献である。ラテン語本文に最新の日本語訳と詳細な注解を施した。

《訳者紹介》ロバート・キエサ (Robert Chiesa, SJ) … 1936 年米国サンフランシスコ生まれ。1953 年イエズス会入会、1960 年来日。広島学院中高教諭、栄光学園中高教諭、上智大学文学部講師、泰星中高 (現: 上智福岡中高) 講師を歴任。現在、イエズス会日本管区管区長秘書。高祖敏明 (こうそ・としあき) … 1947 年生まれ。イエズス会司祭。上智大学文学部教授、同総合人間科学部教授、学校法人上智学院理事長などを歴任。現在、上智大学名誉教授、聖心女子大学学長。梶山義夫 (かじやま・よしお) … 1955 年生まれ。イエズス会司祭。イエズス会日本管区管区長などを歴任。現在、イエズス会社会司牧センター所長。



教文館 新刊案内

3月22日発売予定

ウェスレー・メソジスト研究

第23号

フィビー・パーマーの思想（フィニーとの比較で）

大宮有博

19世紀最大の女性説教者フィービー・パーマー

シュー・土戸・パウロ

小島伊助の関係論的聖化論

大頭真一

ウェスレーのPrimitive Phisic全訳

坂井哲博

A5判・並製・約110頁・定価1,000円（本体909円+税） コード93023



説教 24

説教塾紀要

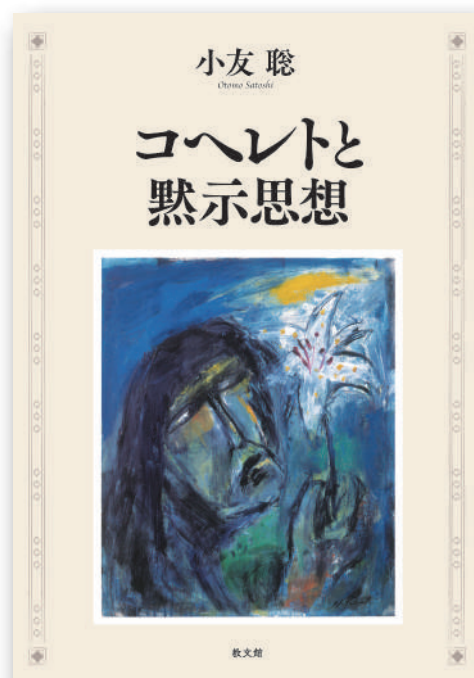
主な目次

巻頭言 わが主イエスを愛する	平野克己
特集 加藤常昭・遺言説教	
説教「教会の宝、私たちの宝」	加藤常昭
説教「死の恐れに勝つ」	加藤常昭
特集 テモテへの手紙二の説教黙想（ルドルフ・ボーレン著『祈る』と対話して）	
（執筆者）宮崎 誉／井ノ川勝／川崎公平／鷹澤 匠／小泉 健／楠原博行／吉村和雄／瀬津省一	
説教分析 中田重治説教「ただ信ぜよ」説教分析	関 義朗
渡辺善太の説教「人間的立場からの飛躍」のスケッチ的分析	大澤正芳
東京説教塾例会「日本の説教を学ぶ」へのレスポンス	
書評 『加藤常昭説教全集 31 使徒言行録講話』との対話	相原典之
平野克己著『説教 十字架上の七つの言葉——イエスの叫びに教会は建つ』	伊藤 智
戸倉だより	加藤常昭



コヘレトと黙示思想

小友 聡 著



荒廃した時代に、いかなる知恵で対峙するか？

希望を失い、歴史の「終わり」を渴望する黙示思想に抗い、「終末は無い」と主張するコヘレト。「時」「飲み食い」「へベル」などをモチーフに、皮肉や逆説を駆使して説くその「救済」とは？ 厭世的な書という誤解を解き、コヘレト書の真実に光を投ずる。

〔目次〕

第I部 総論——コヘレト書と黙示思想

第1章 黙示思想とコヘレト書／第2章 黙示の起源は預言か知恵か／第3章 黙示、預言、知恵／第4章 「黙示」概念の根源をめぐる考察

第II部 各論——コヘレト書をめぐる諸考察

第1章 コヘレトの思想的戦略／第2章 最悪のシナリオを想定して／第3章 コヘレト書における「謎解き」／第4章 コヘレト書の反黙示思想／第5章 コヘレト書の構成と統一性をめぐって／第6章 コヘレト書におけるパロディー／第7章 死すべき者の救済／第8章 コヘレト書の「へベル」について／第9章 コヘレトの時間認識と救済／第10章 コヘレト書の歴史的背景

付録 書評1, 書評2

著者紹介 小友 聡 1956年、青森県に生まれる。東北大学文学部卒業、東京神学大学大学院修士課程修了。ドイツ・ペーテル神学大学に留学(神学博士)。現在、東京神学大学教授。日本基督教団中村町教会牧師を兼務。

著書 『「コヘレトの言葉」の謎を解く』(日本聖書協会、2017年)、『コヘレトの言葉を読もう』(日本キリスト教団出版局、2019年)、『コヘレト書』(VTJ 旧約聖書注解)(日本キリスト教団出版局、2020年)、『それでも生きる』(NHK こころの時代)(NHK 出版、2020年)、『謎解きの知恵文学』(ヨベル、2021年)、『すべてには時がある』(NHK 出版、2020年)、『旧約聖書と教会』(教文館、2021年)、『絶望に寄りそう聖書の言葉』(筑摩書房、2022年)ほか著書・訳書多数。

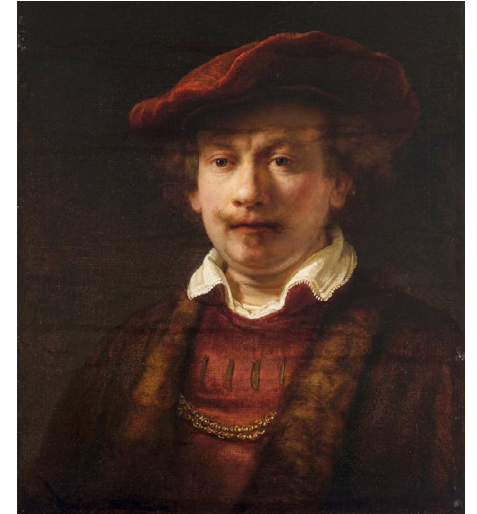
A5判・上製・320頁・定価5,500円(本体5,000円+税) ISBN978-4-7642-7470-9 C3016

コヘレトの言葉

人生を生きよ

ヴァルター・リュティ [著] / 穴戸 達 [訳]

四六判・並製・221頁・本体2,100円（税込定価2,310円）、ISBN 978-4-400-52111-2 C1016



コヘレトはニヒリストではない

「実のところ、わたしにとっては、コヘレトという人は、赤いベレー帽をかぶった人物のように思えるのです。すなわち、灰色の生活、そして、しばしば真っ暗闇になってしまう日常生活のただなかで、いつも灰色の帽子を脱いで赤いベレー帽を愛用する人物です。」（本書より）

傑出した説教者による力強い講解！

『説教者ソロモン』を改訳・改題して贈る。

著者 ヴァルター・リュティ (Walter Lüthi)

1901年スイスのギュンスバルクで生まれる。六人兄弟の五番目。幼くして父を亡くし、貧窮の中を母に育てられる。ベルン、チューリヒ、チュービンゲン、ローマなどで学ぶ。ヴィネルツとバーゼルの教会を経て、ベルンのミュンスターで23年間牧会。トゥルンアイゼンと共に雑誌『バーゼル説教集』の編集に関わる。名説教者として知られ、多くの説教集を出版した。1982年逝去。

訳者 穴戸 達 (ししど・たつ)

1933年、山形県に生まれる。1959年、東京神学大学修士課程修了。元日本基督教団国立教会牧師。訳書に、バルトの『神認識と神奉仕』、リュティの『アダム』以下の旧約講解シリーズや『あなたの日曜日』、ツィンクの『美しい大地』『いばらに薔薇が咲き満ちる』『星を仰いで路地を見よ』他多数。共著に『み言葉の調べ』Ⅰ、Ⅱ他。

【目次より】	
はじめに	赤いベレー帽をかぶる人
第1章	コヘレトは言う、一切は空である
第2章	さあ、喜びでお前を試そう、幸せを味わうがよい
第3章	すべてに時機がある
第4章	私は再びあらゆる虐げを見た
第5章	神殿に行く時には、足に気をつけなさい
第6章	太陽の下、私はある災いを見た
第7章	名声は良質の香油にまさる
第8章	誰が知恵ある者でありえよう
第9章	正しき者も知恵ある者も彼らの働きは神の手の中にある
第10章	死んだ蠅は香料職人の油を臭くし、腐らせる
第11章	あなたのパンを水面に投げよ
第12章	若き日に、あなたの造り主を心に刻め

新教出版社・新刊案内 2023 年 3 月 17 日発売

旧約聖書 文学書

要約と概説

宮平 望 [著]

A 5 判・並製・220 頁・本体 1,900 円（税込定価 2,090 円）
ISBN 978-4-400-11905-0 C1016

新しい旧約入門シリーズ、第 3 弾！

旧約聖書の諸文書を章ごとに、ヘブライ語原典に基づいて要約し、新約聖書の視点からメッセージを解説する。創見に満ちた解釈を随所に盛り込み、聖書の学びが楽しくなる。旧約聖書の複雑多様な世界を読み進めるための好個の手引き書。全 4 冊。

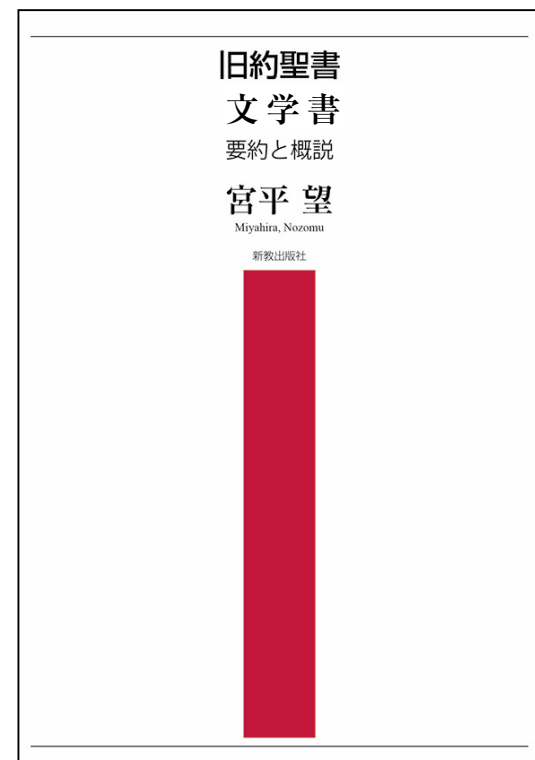
「文学書」は、ヨブ記、詩編、箴言、コヘレトの言葉、雅歌を扱う。

以下の刊行予定（今秋）

▶旧約聖書 預言書 【既刊】 ▶旧約聖書 律法書、▶旧約聖書 文学書

宮平 望（みやひら・のぞむ）

1966 年生まれ。同志社大学、ハーバード大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学などで学ぶ。現在、西南学院大学国際文化学部教授、神学博士。詳しくは著者のサイト <https://miyahiranozomuhome.wixsite.com/mysite> を参照。



いま 湊 晶子◎著 現代を生かす新渡戸稲造の人格教育

東京女子大学、広島女学院大学でキリスト教主義学校の女子教育に尽力し、
90歳を迎えた著者渾身の1冊。



「キリスト教学校に属する者として、またキリスト者として『人格とは何かについて』明確な意味を世に示す責任がある。国際社会において日本が責任を果たすためには、座標軸にしっかりと位置づけ、ぶれない個を確立する必要がある。世界で活躍できる若者を生み出すために、この小冊子が用いられれば幸いである」(「序文」より)

目次

- 第1章 生い立ちと年表に見る新渡戸稲造の生涯
- 第2章 現代(いま)を生かす新渡戸稲造の「人格と公共」の精神
- 第3章 キリスト教に立脚した新渡戸稲造の女子人格教育
- 第4章 東京女子大学創立90周年と100周年記念講演
- 第5章 激動の時代におけるキリスト教学校の存在意義——戦前・戦中・戦後を5代目キリスト者として生きて



湊 晶子(みなと・あきこ)

1932年生まれ。東京女子大学文学部社会科学科卒業。フルブライト奨学生としてホイートン大学院(神学修士・2008年名誉博士)。NHK教育テレビ英語会話中級講師、ハーバード大学客員研究員、東京基督教大学及び東京女子大学教授を経て、東京女子大学学長(2002年～2010年)、広島女学院院長・学長(2014年～2021年)を歴任。国際NGOワールド・ビジョン・ジャパン理事、国際開発救援財団理事、国連ユニタール協会理事を務める。「瑞宝中綬章」受章、ベスタロッチャー教育賞、中国文化賞受賞。著書に『女性を生きる』『初代教会と現代』など。

ことばの力

キリスト教史・神学・スピリチュアリティ

関西学院大学キリスト教と文化研究センター [編]



現代社会における「ことばの力」の回復を目指して

「ことばの宗教」であるキリスト教において、「神のことば」「神に関わることば」はどのように理解されてきたのか。また、それらの言葉は、どのような文脈でどう語られ記されたのか。礼拝・典礼、文書、人々のコミュニケーションにおいて、どのような役割を果たし、どう世界に影響を与えてきたのか。7人の神学者が現代におけるキリスト教と「ことばをめぐる諸問題」に、歴史、組織・実践神学、スピリチュアリティの視点から立ち向かう。

目次

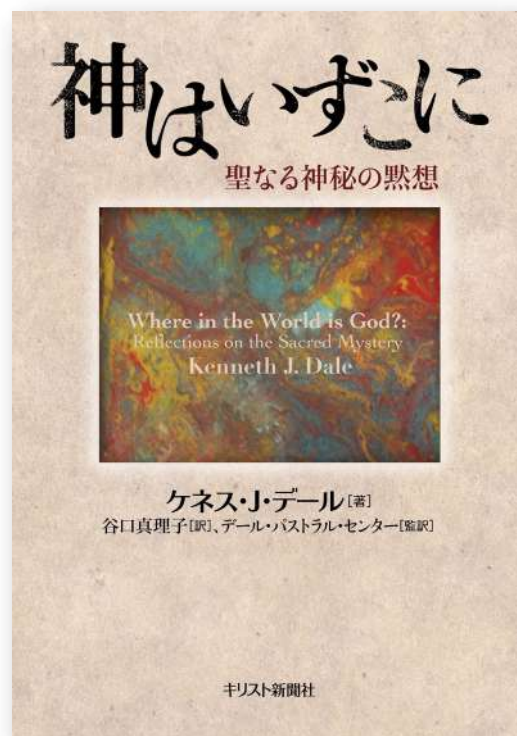
- 新約聖書を語りなおす——塚本虎二による口語訳プロジェクト—— 赤江 達也
オリゲネスとことば——神の像とそこに向かう生を求めて—— 梶原 直美
揺らぐ言葉と説教者の権威——教皇ヨハネス 22 世の至福直観の教義をめぐる説教—— 赤江 雄一
神のことばを神学する——その展開および限界に関する一考察—— 加納 和寛
実践神学と証言——20 世紀のドイツ語圏の実践神学に焦点をあてて—— 橋本 祐樹
言葉とサクラメント——特にテゼ共同体の実践に注目して—— 打樋 啓史
スピリチュアルの力——浮動する言葉と宗教の境界線—— Timothy O. Benedict

神はいずこに 聖なる神秘の黙想

ケネス・J・デール [著]、谷口真理子 [訳]、デール・パストラル・センター [監訳]

神とは誰か？ どこにいるのか？
伝統的な「天の父」のイメージを覆す「生ける神」の証し。

「ある意味で、日本は現代社会の中で最も世俗化した文化の一つでしょう。しかし、それでいて日本人の皆さまはスピリチュアルニーズ、あるいは宗教的な深い求めを満たすものをやはり心の深いところで求め続けているように私には感じられるのです。私は、その日本人の皆さまがそうして深く求めているところのものは神の声なのだと信じています。そして、ここに私が試みました一つのアプローチは、きっとそうした皆さまにはお役に立てるのではないかと思います。」（「日本の読者の皆さまへ」より）



<著者紹介> ケネス・J・デール (Kenneth J. Dale)

米国ネブラスカ州生まれ。米国福音ルーテル教会牧師。シカゴ・ルーテル神学校においてMDiv、ニューヨーク・ユニオン神学校においてPhDを取得。ルーテル学院大学・神学校にて牧会配慮ならびにカウンセリング専任教授として35年間奉職、同名誉教授。1982年には大学附属機関として「人間成長とカウンセリング研究所 (PGC)」を創設、14年間にわたり所長を務めた。仏教、異文化、カウンセリング、キリスト教の霊性など、さまざまなテーマで本を出版しており、今回で10冊目となるが、そのうちのいくつかは日本語に翻訳され出版されている。現在はカリフォルニア州クレアモントの引退者生活共同体Pilgrim Placeに在住。

<訳者紹介> 谷口真理子

国際基督教大学大学院教育学研究科修士課程修了。英語講師。1984年から1990年まで人間成長とカウンセリング研究所 (PGC) で学び、活動に関わる。PGC2期生。

及川 信 著 京都正教会／長司祭

イースター小品集

わたしが十字架になります

2023 年 3 月 20 日刊行予定

神の鼓動で花ひらく
エデンの園へ、ようこそ。

聖書と聖伝承を色彩豊かに編み直した物語が、復活祭を待ち望む人の旅の友となる。キリストの受難と復活にまつわる八つの贈り物。

著者・解説者・画家略歴

パウエル及川 信（おいかわ しん）

1959 年、岩手県生。北海道立釧路湖陵高等学校、東京正教神学院、愛知大学に学ぶ。日本ハリストス正教会教団 東京、名古屋、鹿児島、人吉をへて現在 京都正教会。長司祭。

著書 『ロシア正教会と聖セラフィム』『馬飼聖者』『オーソドックスとカトリック』（サンパウロ）、『神父になったサムライ』『聖書人物伝』（日本正教会 西日本主教区）、『クリスマス小品集 みちびきの星』ヨベル、等。

アナスタシア山崎佳代子（やまざき かよこ 詩人・翻訳家）

1956 年、静岡市出身。北海道大学露文科卒業後、1979 年、ユーゴスラビア政府奨学生としてサラエボ大学、リュブリャナ民族音楽研究所に留学、1981 年よりベオグラード在住。

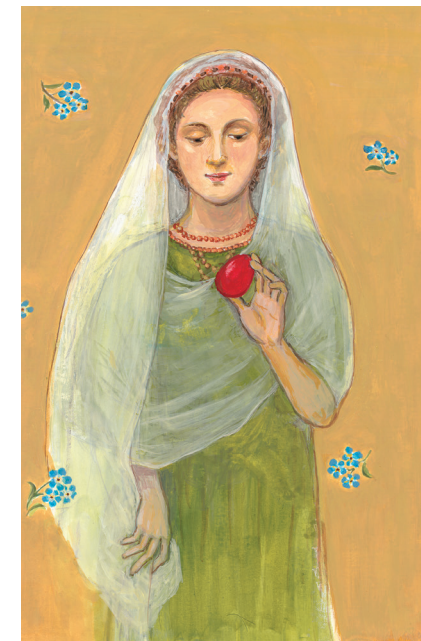
ベオグラード大学文学部教授。

著訳書 詩集 『海に行ったらいい』（思潮社）、『黙然をりて』（書肆山田）等、エッセイ 『ベオグラード日誌』（書肆山田）、『パンと野いちご』（勁草書房、宇治市紫式部文学賞受賞）、『ドナウ、小さな水の旅』（左右社）等、翻訳 ダニロ・キシシュ著『若き日の哀しみ』（東京創元社）等。

エウゲニア白石孝子（しらいし たかこ 画家・アイコン画家）

1948 年、北海道生。北海道教育大学特設美術課程中退、慶応義塾大学文学部美学卒業。

1991 年多摩大賞展にて奨励賞受賞（東京都多摩市所蔵）。1994 年岡山県赤磐市にアトリエを移し、白石デザイン研究所専従の傍らアイコンの制作を始める。アイコン教室、アイコン制作の他、個展などを開催。アイコン所蔵正教会：釧路、札幌、徳島、苫小牧、柳井原、坪、人吉、京都、足利、前橋、鹿沼など。



主な目次

赤いゆり

白いろば

バラバ

わたしが十字架になります

ヴェロニカ

ふたりの弟子

ピラトの妻

ペトロの旅立ち

神様の庭へ 永遠の命を求めて

山崎佳代子

挿絵 白石孝子



四六判・216 頁・定価 1,540 円（税込）
本体 1,400 円 + 税 ISBN978-4-909871-85-5 C0016

ヨベル YOBEL Inc. 〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-1 T 03-3818-4851 F 03-3818-4858 <http://www.yobel.co.jp>



津和野 乙女峠 37人の「証し人」

1867年 長崎の浦上村で、仏式の埋葬を拒否して檀那寺との関係を断つ申し立てを機に始まった、キリシタンへの近代の迫害。明治の新政府下でも迫害は続き、浦上の総村民三千人以上が22の地へ流配された。

流配地の一つ、島根の津和野の乙女峠には、苛酷な拷問にも屈せず、信仰を守って命をささげた信徒たちがいた。

本書では、日本のキリスト教会宣教の歴史概説も加え、流配に至る、宗教・外交を含めた政治的背景や要因も解説。

津和野での状況（人数、移送の経緯、収容施設、労作業、衣食、処遇、政府の指示、教会からの励まし等）や、死に至るまでの具体的な信仰の証しを特筆する。

著 筒井 砂

元上智大学職員。

カトリック広島教区列聖委員会委員。

訳書にヴァリニャーノ『日本イエズス会士礼法指針』、トルチヴィア『ジョヴァンニ・バッティスタ・シドティ』（いずれも共訳）がある。

監修 片岡 瑠美子

純心聖母会会員。長崎純心大学長。

教会史学博士（グレゴリアナ大学）。

カトリック教会史、特に日本教会史（キリシタン史）専攻。

著書に『キリシタン時代の女子修道会—みやこの比丘尼たち』、『日本司教ルイス・セルケイラの生涯と司牧1598-1614』他がある。

なぜ、津和野だけを取り扱うのか (P.9～

潜伏時代のキリシタン (P.19～

キリシタン時代のはじまり／キリシタン潜伏時代へ
潜伏キリシタンの信仰生活

「洗礼」の伝承／「こんちりさん」の教え／「殉教」の精神

信徒発見から津和野への旅立ちまで (P.43～

信徒発見／浦上四番崩れ／流配と流配地津和野での状況

37人 各自の死のいきさつ (P.81～

「証し人」たちの横顔／「証し人」たちの真実の姿

帰郷とその後 (P.115～126)

帰郷実現の実情／「証し人」に対する声望 —結びにかえて—



定価990円(本体900円+税) B6判 128頁 並製 ISBN 978-4-7896-0836-7 C0016